

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 114 (当初計画: No. 122)

東北森林管理局

取組名	ボランティア団体等と連携した森林整備等の推進 (継続)
流域名	最上村山流域
重点事項番号	⑥-62
実施箇所及び実施日	①板山外3国有林 平成24年9月28日 ②蔵王山外3国有林 平成24年6月3日
取組の背景及び必要性	森林ボランティア団体の活動と活性化のため、地域に密着した交流の促進、活動フィールドの拡大・技術向上のための活動支援等を図る必要がある。
取組の内容	森林ボランティア団体等の活動支援のため、国有林のフィールドを提供し、森林環境教育への技術指導を実施。 ①山形グリーンライフ女性の会「体験林業(枝打ち作業)」へのフィールド提供、技術指導及び森林教室の実施。 ②蔵王緑の騎士団「春の森林パトロール」における指導助言等の実施。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署: 活動フィールドの提供、技術指導、森林教室
連携協働相手先・役割	各団体: 活動全般の支援、作業用具の準備
取組の結果、反響、今後の課題等	①会員9名、署4名参加、②団員15名、県1名、署2名参加。ボランティア団体への新規加入者が少なく、会員の高齢化等もあり、行事への参加者も限られてきている様子。
PRの実施状況及びその期待する効果	各団体において開催案内等を行っている。 署HPによりPR。 各団体の活性化を期待。

【参考資料】

取 組 名 ボランティア団体等と連携した森林整備等の推進（継続）

○山形グリーンライフ女性の会「体験林業（枝打ち作業）」



枝打ち体験の様子



森林教室の様子

○蔵王緑の騎士団「森林パトロール」



森林ボランティア活動登録証  
の交付



春の森林パトロール開始式

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 115 (当初計画: No. 123)

東北森林管理局

取組名	各種イベントへの参画を通じた林産業振興活動への支援(継続)
流域名	最上村山流域
重点事項番号	⑥-63
実施箇所及び実施日	山形県総合運動公園 平成 24 年 10 月 13 日・14 日
取組の背景及び必要性	低迷している最上村山流域の林産業を活性化させるため、各種イベント等を通じた広報活動を展開し、質的向上を図る。
取組の内容	第 22 回山形県林業まつりの開催に実行委員として参画し、木工品、つる工芸品等の販売、木工教室等を行うとともに、併せて、東日本大震災復興関連パネル展示により情報提供を行った。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署 実行委員会への参画及び林業まつりへの出展
連携協働相手先・役割	山形県、天童市、林業関係団体等 イベントの企画、開催経費の確保、新聞広告等
取組の結果、反響、今後の課題等	今回の林業まつりは、2 日間で約 37,500 人の来場者数を記録。来年度も継続される予定であり、引き続き協力することが必要。
PR の実施状況及びその期待する効果	新聞広告等を使った PR を行ったことにより多数の来場者があり、森林、林業、木材産業の役割等への理解と認識を深めていただいた。

【参考資料】

取組名	各種イベントへの参画を通じた林産業振興活動への支援(継続)
-----	-------------------------------

○第22回山形県林業まつり



木工品等の販売



木工教室等の様子



パネル展示  
東日本大震災復興への取り組み  
(海岸松林の復旧)

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 116 (当初計画: No. 124)

東北森林管理局

取組名	造林地の針広混交林化に向けての取組 (継続)
流域名	最上村山流域
重点事項番号	⑤-52
実施箇所及び実施日	中山外 18 国有林 平成 24 年 8 月 2 日調査区設定 平成 24 年 9 月 3 日調査
取組の背景及び必要性	生物多様性基本法の考え方に基づき、スギ造林地等の針広混交林化を推進し、生物多様性の保全を図る森林施業に向けた取組が必要である。
取組の内容	森林生態系保護地域に近い地域の天然更新型複層林誘導施業群の中から列状間伐実施済み箇所を選定し、間伐後の広葉樹の侵入状況を調査した。平成 22 年度及び平成 23 年度の列状間伐箇所に調査区を設定し、調査区内の樹種及び本数を調査した。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署 針広混交林化に向けた森林施業の方法及び試験地の設定
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	針広混交林化による生物多様性の検討
PR の実施状況及びその期待する効果	生物多様性に向けた森林施業技術を推進する。

【参考資料】

取組名	造林地の針広混交林化に向けての取組（継続）
<p data-bbox="183 389 638 427">○針広混交林化調査区の設定</p> <div data-bbox="231 481 750 869"></div> <div data-bbox="826 481 1345 869"></div> <div data-bbox="231 958 750 1346"></div> <div data-bbox="826 958 1345 1346"></div> <div data-bbox="520 1429 1038 1816"></div>	

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 117 (当初計画: No. 125)

東北森林管理局

取組名	村山地域の森林施業集約化に向けた取組 (新規)
流域名	最上・村山流域
重点事項番号	②-21
実施箇所及び実施日	山形県森林組合連合会会議室 平成 24 年 4 月 26 日 平成 25 年 3 月 7 日
取組の背景及び必要性	持続可能な森林経営に必要な適切かつ効率的な森林施業を行うため、施業の集約化と効率化を図る必要がある。
取組の内容	<p>村山地域の低調な民有林林業の活性化に貢献するため、「村山公益の森づくり協議会」の「村山地域森林施業集約化部会」設立 (平成 24 年 2 月) と運営に主体的に関わり、地域関係機関と国有林の間伐施業地も活用した共同施業団地の設定を検討している。</p> <p>参加機関から情報提供を受け、当方において「村山地域森林施業地図面」を作成し、「村山地域森林施業集約化部会 (第 2 回)」(4 月 26 日) において提供し、情報共有と意見交換を実施した。</p> <p>また、3 月 7 日に集約化部会 (第 3 回) を開催し、山形署の取り組み状況、山形県村山総合支庁からの情報提供、及び部会の今後の進め方等について意見交換を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	山形森林管理署: 国有林に係る関係情報の提供 集約化部会運営へ主体的に関わり事務局を補佐
連携協働相手先・役割	山形県村山総合支庁: 山形森林管理署と連携し、事務局を補佐 県森連、市町、各森林組合等部会参加機関: 各組織の持つ関係情報の提供
取組の結果、反響、今後の課題等	民・国共通の図面により、集約化に向けた具体的検討ができるとの反響がある。 民・民による集約化もあり得るが、プランナーの技量や境界確定問題等の課題もある。
PR の実施状況及びその期待する効果	署HPによりPR。 集約化の推進が期待される。

【参考資料】

取 組 名	村山地域の森林施業集約化に向けた取組（新規）
-------	------------------------

○村山地域森林施業集約化部会



第 2 回集約化部会の様子



第 3 回集約化部会の様子



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 118 (当初計画: No. - )

東北森林管理局

取組名	平成 24 年度低コスト作業システム検討会 (新規)
流域名	最上村山流域
重点事項番号	② - 21
実施箇所及び実施日	清水山外 11 国有林 平成 24 年 8 月 31 日
取組の背景及び必要性	間伐等の施業の低コスト化は森林・林業の再生への課題であり、列状間伐と路網作設を組み合わせた効率的な作業システムの普及啓発を図る必要がある。
取組の内容	<p>現地を視察しながら、事業概要、林業専用道、森林作業道、列状間伐等、作業システム及び手法、工夫について、現状の技量や条件に基づいての説明評価を行うとともに、意見交換を行った。</p> <p>参加機関は、村山地域森林施業集約化部会の参加機関及び林業事業体と森林管理局・山形森林管理署職員の合計 43 名が参加。</p>
国有林担当部局・役割	山形森林管理署、東北森林管理局販売課 検討会の企画、資料作成、フィールド提供等
連携協働相手先・役割	村山地域森林施業集約化部会の参加機関、林業事業体 作業班の現状、高性能林業機械の保有状況、作業システム等の紹介
取組の結果、反響、今後の課題等	低コスト作業の確立・定着化のためには署の指導体制の強化や事業体の努力はもとより、作業箇所の集約化、団地化を推進し、一事業地での事業量確保のための関係機関による、より一層の連携強化の取り組みが必要。
PR の実施状況及びその期待する効果	署HPによりPR。 マスコミへのプレスリリースにより地元テレビ局が取材し、夕方のニュースで紹介された。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 平成 24 年度低コスト作業システム検討会（新規）

○列状間伐実施箇所を会場に現地検討会を開催



事業概要等の説明



森林作業道



森林作業道についての説明



列状間伐の伐採列



作業システム等の説明と意見交換